

記事 電話03-3433-7161 mail-lad@deen.co.jp 印刷 電話03-3433-7152 mail-sa@deen.co.jp 広告 電話03-3433-7154 ei.gyo@deen.co.jp  
発行所 日経建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 https://www.deen.co.jp/ ©日経建設工業新聞社 2019

日

2018(平成30)年は平成最悪の豪雨災害ほか各種災害の年であった。2月の福井豪雪は、1963(昭和38)年豪雪、1981(昭和56)年豪雪に次ぐ記録的な大雪となり、豪雪記録更新が相次いだ。

4月に大分県中津市の耶馬溪町金吉で起きた予兆なき土石流で死者・不明者6人。6月に発生した大阪北部地震の死者は5人。7月の西日本大豪雨では線状降水帯が多数発生し、九州から近畿・岐阜にかけて広域の各所で多様な被害が起こった。2014(平成26)年の広島土砂災害・死者77人は一つの線状降水帯による災害であったが、昨年の大豪雨ではこれが62カ所・62倍になり、232人が犠牲になった。夏には猛暑が続き、熱中症による緊急搬送が全国で9万5073人に達し、160人が死亡した。

## 明治維新150年と治水の歴史

三 征 林 竹

### 〈43〉平成30年・次々起こる様々な大災害

人という被害が起きた。このように18年度に起きた災害の死者・不明者数は昨年9月末現在、未確定値を含み4百数十人になる。

2006年までに発生した台風以外の豪雨261件のうち、約168件は線状降水帯だったという。

1990年以前は知られていなかった線状降水帯と水、土砂、風と、電気を含み4百数十人になる。

9月に入ると台風21号の猛烈な風台風が紀伊水道から大阪を直撃。関西国際空港は高潮で滑走路が水没したほか、連絡橋にタンカーが衝突し一瞬にして日本の玄関が機能不能に陥った。この台風による死者は13人。その2日後には震度7の北海道胆振東部地震が発生し、全道295万戸が停電しブラックアウトとなった。全道停電史上初。死者48人。9月末に上陸した台風24号でも死者・不明者2

度である。1995年から

2006年までに発生した

これまでなかった現象が1990年代以降、地球上の部分に起こるのである。か。実に不思議である。

西日本豪雨では、気象庁の全国1300カ所ある雨量計の記録更新数が1時間雨量14カ所、3時間雨量16カ所、24時間雨量75カ所、48時間雨量123カ所、72時間雨量119カ所であった。昨年の豪雨災害はこれまでなかった2〜3日間の連続豪雨が起した河川災害・土砂災害とみなせる。そもそもこのきっかけは豪雨、台風、地震などの自然現象であるが、いくら異常現象が生じても、その地に人為的な変化がないと、人間社会文明がゼロで災害とはならない。その意味で結果としての被害の大きさは人間が作った文明社会・大規模停電などは人間が作った近代文明が果たした部分・役割が大きく作用している。天災・自然の営為と人災・人間の営みの共同作業の結果といえる。どこまでが天災でどこからが

人災かの区切りはつげがた。天災と人災とは連続体であるとする環境防災学の見座が重要な事例ばかりであった。大自然災害は最大の環境破壊である。災害を少なくする減災や防災事業は環境保全の根幹である。災いは人間の三毒すなわち、無知、貪(むさぼ)り、瞋恚(しんい)により無限に拡大し増幅されていく。災いの連鎖は大きい。

〈参考文献〉『物語日本の治水史』鹿島出版会(常葉大学名誉教授、風土工学デザイン研究所会長) 週一回掲載

大阪支社 TEL 06(6942)2601  
名古屋支社 TEL 052(961)2631  
横浜支社 TEL 045(201)3821  
関東支社 TEL 03(3433)7154  
東北支社 TEL 022(222)4222  
九州支社 TEL 092(741)4805  
kyusyu@deen.co.jp

北海道総局 TEL 011(261)7653  
札幌支社 TEL 03(3433)7154  
北陸総局 TEL 025(229)5411  
中国総局 TEL 082(221)7256  
四国総局 TEL 087(837)5072  
shikoku@deen.co.jp